

## 札幌市立札幌中学校の取組

### 1 道徳科の指導について

#### ・授業づくりのポイント

本校では、道徳の授業1単位時間の中で一つの価値のみを焦点化するのではなく、新学習指導要領にもあるように、複数の価値が対立する葛藤場面を設定するよう心掛けている。

そして、なぜそのような問題が生まれるのかを調べたり、他者の感じ方や考え方を確かめたりしながら課題解決に向けて「考え、議論する」過程を重視している。



図1 札幌中学校 道徳科の葛藤場面での生徒の様子

#### ・多様な学習展開

本校では、道徳担当教師の準備した基本となる学習指導案を、授業を担当する教師が教材の提示の仕方や発問を学級の生徒の実態に合わせ、工夫しながら授業づくりに取り組んでいる。

例えば、読み物教材を範読だけでなく映像などを使って思慮を深めようとしたり、生徒の思考を予想しそれに沿った発問や、切実感のある発問、自由な思考を促す発問、物事を多面的・多角的に考える発問などにしたりして、主題を明瞭にして生徒がより主体的に問題意識をもつよう努めている。

#### ・学習指導における配慮事項

「考え、議論する」道徳を進める上で基盤となるのは、言語活動と受容的な学級風土である。本校は、望ましい「人間関係形成能力」の育成を柱としたカリキュラム・マネジメントを組織的に推進し、教科等横断的に言語活動の充実に取り組んでいる。そのため、

道徳科の指導を学級担任任せではなく、学校として全教職員で取り組むとの方針のもと、研究部と道徳教育推進教師を中心として、図2のように全ての学年所属教師が交代で全学

1学年道徳ローテーション表		4	5	6	7	8
担 当	教 材 名	金	木	金	木	金
担任	01「全てがリオでかみ合った」A-(4)希望と勇氣、克己と強い意志					
	02「朝市の『おはようございます』」B-(7)礼儀					
	03「選手に選ばれて」C-(10)道法精神、公徳心					
担任①	04「自分の性格が大嫌い！」A-(3)向上心、個性の伸長		1	4	2	3
副担任①	05「いじめに当たるのはどれだろう」B-(9)相互理解、寛容		5	2	3	×
副担任②	06「傍観者でいいのか」A-(1)自主、自律、自由と責任		3	1	5	4
担任②	07「ぼくのふるさと」C-(16)郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度		4	2	5	×
担任③	08「薬寿舟に乗って」C-(12)社会参画、公共の精神			5	3	4
担任④	10「新しいプライド」C-(13)勤労			1	4	×
担任⑤	11「短文投稿サイトに友達の悪口を書く」とB-(8)友情、信頼			2	5	4
副担任③	12「いのちって何だろう」D-(19)生命の尊さ			3	1	2
担任	※「ふたつの心」複数内容項目					
	09「山に来る資格がない」A-(2)節度、節制					
	※アクション!A-(2)節度、節制					

図2 札幌中学校 令和元年度道徳科年間指導計画（抜粋）

